

中学校体育授業における発問の実態とその効果について

～生徒の授業評価と発話に着目して～

成松 泉（千葉大学）

1. 目的

体育の授業に生徒たちが主体的に取り組むためには、教師が生徒たちのレディネスに合った学習課題を提示し、生徒自身にめあてを明確に認識させる必要がある。

「発問」は、生徒たちに自ら考える力や課題に対する探究心を芽生えさせる意味でも大変重要な教授技術となる。しかし、「発問」の効果を中学校現場で比較研究により明らかにした研究は稀少である。本研究では、体育科実技授業における教師の発問の差異によって生徒の授業中の発話や授業評価にどのような影響を及ぼすのか、両者の関係性を捉えることを目的とした。

2. 研究方法

「発問」を意図的・計画的に実施しなかった授業（平成28年度）と、指導案検討時から意図的・計画的に取り入れ実施した授業（平成29年度）を以下の方法論により比較・検討した。

1) 対象者と日程

ア. 平成28年度：2年7・8組の男女（計75名）

平成28年5月23日～7月7日

（全15時間のうち導入とまとめを除く11時間）

イ. 平成29年度：2年4・5・6組の男女（計101名）

平成29年5月29日～6月30日

（全13時間のうち導入とまとめを除く9時間）

2) 分析方法

ア. 教師の授業場面の観察・記録（指導言語）

授業中の教師の言語行動を、運動学習場面と直接的指導場面に限定して収集し分析を行った。分析には、「相互作用カテゴリー」（豊田, 2017）を用いた。また、発問を、「回顧的・分散的・集中的・価値的」（高橋, 1988）に分類し、分析を行った。

イ. 生徒の発話に関する観察・記録

両年とも、技能上位・下位各6名計12名の生徒を選出し、授業中における発話を収集し、渡辺（2014）の「児童の発話内容分析カテゴリー」を用いて分析を行った。

ウ. 質問紙調査

全生徒を対象に、単元前後に診断的・総括的授業評価（高田ら, 1994）を、各授業終了後に形成的授業評価（高橋ら, 1994）を実施した。

エ. 統計処理

年度間の授業評価の差異をt検定で、教師と生徒の発話の関係性をピアソンの積率相関分析を用いて捉えた。有意水準は5%未満とした。

3. 結果と考察

1) 教師の言語行動

「発問」を意図的・計画的に実施した平成29年度は、走り高跳び・幅跳びともに1%水準で有意に発問の頻度が多くなった。また、発問で最も多かったのは、回顧的発問であり、前時の学習内容を復習し授業を展開する系統的な学習が展開されていた。

2) 教室の発問と生徒の発話の関係性

教師の「回顧的発問」と生徒の「肯定的フィードバック（具体）」（ $r=0.734, p<0.05$ ）・「矯正的フィードバック（具体）」（ $r=0.748, p<0.01$ ）に正の強い有意な相関が認められた。これは、過去の学習を土台に次時へとつなげる系統立った発問が、生徒たちの技能的フィードバックを増加させる効果があったと捉えることができる。以上から、意図的・計画的に回顧的発問を実施することは、生徒たちの主体的な姿勢を引き出すために重要であることがわかった。

2) 生徒の授業評価に関すること

診断的・総括的授業評価において、平成28年度と平成29年度の年度間に有意な差は認められなかった。形成的授業評価の「成果」次元について、平成28年度は単元後半に停滞する傾向がみられたが、平成29年度は高い評価を維持した。このことから、教師が積極的に「発問」を行うことは、単元後半の課題解決学習の学習成果に肯定的な効果をもたらすことが推測された。

4. 結論

教師と生徒の発話分析、質問紙の分析より、教師による「発問」は、生徒の主体的姿勢を引き出すためにも重要であること、特に、単元後半の課題解決学習において、効果をもたらすことが明らかになった。

<主要引用・参考文献>

- 1) シーデントップ：高橋健夫他訳（1988）体育の教授技術，大修館書店：東京，pp. 250-254
- 2) 高田俊也・岡沢祥訓・高橋健夫（2000）態度測定による体育授業評価法の作成，スポーツ教育学研究Vol. 2 No. 1, pp. 31-40
- 3) 高橋健夫・長谷川悦示・刈谷三郎（1994）体育授業の「形成的授業評価」作成の試み：子どもの授業評価の構造に着目して，体育学研究39（1），pp. 29-37
- 4) 豊田源太（2017）教師の学習目標の設定方法と生徒の学習志向性との関係～グループ内の発話と目標志向性の変化を元に～，平成28年度千葉大学教育学部卒業論文
- 5) 渡辺知子（2014）論理的思考力と技能向上をもたらすリレー学習の在り方～学び合い活動を重視した「2人走」を学習過程に取り入れて～，平成25年度千葉県長期研修研究報告書